

## I. 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（抄）

### 生涯にわたる学習活動と職業生活の両立

○ 昨今の雇用慣行や労働情勢の変化をかんがみるに、人々が、学歴や新規学卒時の就職状況にかかわらず、生涯にわたり、継続して学習活動と職業生活を交互に又は同時に営みながら、職業に必要な能力を修得・更新・向上し、その成果が適正に評価され、就業や業種転換、キャリアアップを図ることができる環境を充実することが必要である。この観点から、教育機関が教育プログラムを開発・提供するに当たっては、次の2つの視点を念頭に置くことが重要である。

#### ◆職業への円滑な移行

若者の職業への円滑な移行

（転職者等が対象となることも考えられる。）

- ・専門分野の基本的知識・技能の修得・更新
- ・労働者の権利・義務・責任の学び

#### ◆職業能力や起業力の向上

就業者や起業を目指す者の新たな知識・技能の獲得・向上

- ・専門分野の高度な知識・技能の修得・更新、周辺分野・関連分野の知識・技能の修得
- ・管理職や経営者等の態度・思考・行動・責任の学び
- ・経営、起業等に関する知識・方法の修得

## II. 本会議における意見例

○ 学術志向とは一線を画した、職業に就いた時に役に立つ実践的な知識の体得が可能なカリキュラムが必要

